



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄  
(コード番号 4064 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 角田 尚久  
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 2 月 7 日に開示いたしました「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

##### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日  
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社  
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	38,869	8.0	665	33.3	837	88.4	435	335.3
25年3月期第3四半期	35,988	△2.3	499	△67.2	444	△64.8	99	△83.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,163 百万円 (681.0%) 25年3月期第3四半期 277 百万円 (△64.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.31	—
25年3月期第3四半期	1.22	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	64,255	20,410	30.4
25年3月期	59,823	18,430	29.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 19,504 百万円 25年3月期 17,662 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	6.7	1,300	50.0	1,400	55.8	700	619.9	8.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	81,940,298 株	25年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	57,354 株	25年3月期	55,669 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	81,883,460 株	25年3月期3Q	81,885,747 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年11月8日公表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国での緩やかな回復の継続や、中国を中心としたアジア新興国の景気減速に歯止めがかかるなど、明るい兆しが現れているものの、欧州諸国の債務問題に不安が残り、依然として不透明な状況で推移しました。一方、わが国においては、景気回復政策を背景に引き続き円安傾向で推移したことに加え、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調をたどりました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、原材料価格の高騰やデジタル家電市場の低迷の長期化があるものの、輸出環境の改善などにより、堅調な状況で推移しました。また、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は 388億6千9百万円と前年同期比 28億8千1百万円 (8.0%増) の増収、営業利益は 6億6千5百万円と前年同期比 1億6千6百万円 (33.3%増) の増益、経常利益は 8億3千7百万円と前年同期比 3億9千2百万円 (88.4%増) の増益、四半期純利益は 4億3千5百万円と前年同期比 3億3千5百万円 (335.3%増) の増益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、NIPPON CARBIDE INDIA PVT. LTD. を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に変更しております。

この変更に伴い、以下の前年同期比較については、変更後のセグメントにより前年同期を組替えたうえで比較しております。

## (機能製品)

当セグメントの主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどです。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けは低調でしたが、農薬関連向けが順調に推移し、前年同期並となりました。メラミン樹脂製品は国内向けは低調でしたが、海外向けが堅調に推移し、前年同期並となりました。接着製品は建築向けなどが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。マーキングフィルムは国内向けは堅調に推移しましたが、海外向けが低迷し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が伸長し、前年同期比増収となりました。包装用フィルムは中国での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は186億3百万円と前年同期比2億8千8百万円(1.6%増)の増収となったものの、原材料価格の上昇などにより、セグメント利益は 14億4千1百万円と前年同期比 4億4千4百万円 (23.6%減) の減益となりました。

## (電子・光学製品)

当セグメントの主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などです。

このうち、再帰反射シートは円安の影響もあり、前年同期比増収となりました。セラミック基板はデジタル家電向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。プリント配線板はアミューズ関連は順調に推移しましたが、情報関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は104億3千7百万円と前年同期比10億9千9百万円(11.8%増)の増収となったものの、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響などもあり、6億3百万円(前年同期は11億9千1百万円の損失)となりました。

## (建材関連)

当セグメントの主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などです。

主力の手摺、笠木等の販売が順調に推移し、売上高は72億7千8百万円と前年同期比7億円(10.6%増)の増収、セグメント利益は1億6千7百万円と前年同期比5千6百万円(50.5%増)の増益となりました。

## (エンジニアリング)

当セグメントの主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などです。

国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、売上高は34億4千万円と前年同期比7億3千7百万円(17.7%減)の減収、セグメント利益は4千5百万円と前年同期比5百万円(14.3%増)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比 44億3千1百万円増加し、642億5千5百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前期末比 35億1千7百万円増加し、310億9千5百万円となりました。固定資産は、土地の減損による減少はあったものの、設備投資などにより、前期末比 9億1千3百万円増加し、331億5千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比 24億5千1百万円増加し、438億4千4百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前期末比 18億4千1百万円増加し、291億8千9百万円となりました。固定負債は、長期借入金を調達したことなどにより、前期末比 6億9百万円増加し、146億5千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上に加え、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比 19億8千万円増加し、204億1千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の 29.5%から 0.9ポイント改善し、30.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の見通しにつきましては、輸出環境は引き続き改善傾向にあるものの、デジタル家電市場の低迷の長期化に加え、原材料価格の高騰などによるコスト上昇が見込まれます。

このような状況を踏まえ、平成25年11月8日に公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成26年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年11月8日発表)	54,000	1,700	1,800	900	10円99銭
今回修正予想(B)	54,000	1,300	1,400	700	8円55銭
増減額(B-A)	0	△400	△400	△200	—
増減率(%)	0.0	△23.5	△22.2	△22.2	—
前期(平成25年3月期)実績	<u>50,620</u>	<u>866</u>	<u>898</u>	<u>97</u>	<u>1円19銭</u>

## 2. サマリー情報(その他)に関する情報

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,872	5,223
受取手形及び売掛金	13,542	15,767
商品及び製品	4,954	5,344
仕掛品	1,533	1,880
原材料及び貯蔵品	1,781	1,877
その他	989	1,112
貸倒引当金	△94	△109
流動資産合計	27,577	31,095
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	6,400	7,186
土地	14,063	13,683
その他（純額）	6,610	7,014
有形固定資産合計	27,074	27,884
無形固定資産	403	528
投資その他の資産		
その他	4,941	4,978
貸倒引当金	△173	△232
投資その他の資産合計	4,767	4,746
固定資産合計	32,245	33,159
資産合計	59,823	64,255

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,862	10,105
短期借入金	14,019	15,010
未払法人税等	292	88
賞与引当金	504	552
その他	2,668	3,432
流動負債合計	27,348	29,189
固定負債		
長期借入金	6,830	7,702
退職給付引当金	2,904	2,871
役員退職慰労引当金	192	103
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,745
その他	232	231
固定負債合計	14,045	14,654
負債合計	41,393	43,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,616	3,132
自己株式	△9	△10
株主資本合計	12,045	12,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△90	170
繰延ヘッジ損益	△46	2
土地再評価差額金	6,938	6,683
為替換算調整勘定	△1,184	86
その他の包括利益累計額合計	5,617	6,943
少数株主持分	767	905
純資産合計	18,430	20,410
負債純資産合計	59,823	64,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	35,988	38,869
売上原価	27,779	29,937
売上総利益	8,209	8,931
販売費及び一般管理費	7,709	8,265
営業利益	499	665
営業外収益		
受取利息	28	44
受取配当金	61	78
為替差益	—	130
その他	155	227
営業外収益合計	245	480
営業外費用		
支払利息	200	194
その他	99	115
営業外費用合計	300	309
経常利益	444	837
特別利益		
固定資産売却益	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
固定資産除却損	12	47
投資有価証券等評価損	45	—
減損損失	1	457
特別退職金	—	169
特別損失合計	59	675
税金等調整前四半期純利益	385	184
法人税、住民税及び事業税	448	376
法人税等調整額	△282	△746
法人税等合計	165	△369
少数株主損益調整前四半期純利益	219	554
少数株主利益	119	119
四半期純利益	99	435

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	219	554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	266
繰延ヘッジ損益	2	49
為替換算調整勘定	21	1,292
その他の包括利益合計	57	1,609
四半期包括利益	277	2,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150	1,999
少数株主に係る四半期包括利益	126	164

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	18,209	9,335	6,573	<u>2,181</u>	<u>36,298</u>	<u>△309</u>	<u>35,988</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	3	5	1,997	2,111	△2,111	—
計	18,315	9,338	6,578	<u>4,178</u>	<u>38,409</u>	<u>△2,420</u>	<u>35,988</u>
セグメント利益又は 損失(△)	1,886	△1,191	111	<u>39</u>	<u>845</u>	<u>△401</u>	<u>444</u>

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>18,571</u>	10,434	7,273	<u>2,147</u>	<u>38,424</u>	<u>444</u>	<u>38,869</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>32</u>	3	5	1,293	<u>1,332</u>	<u>△1,332</u>	—
計	18,603	10,437	7,278	<u>3,440</u>	<u>39,757</u>	<u>△887</u>	<u>38,869</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>1,441</u>	△603	167	<u>45</u>	<u>1,050</u>	<u>△213</u>	<u>837</u>

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、事業・開発体制を一層強化し、連携・シナジー効果の促進、更には経営効率の向上と戦略機能の強化を図るため、平成25年4月1日付で組織変更しております。

この組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日  
上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社  
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 泰稔  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	39,008	8.0	772	8.0	955	44.8	551	83.4
25年3月期第3四半期	36,107	△2.2	715	△56.5	660	△52.2	300	△59.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,345 百万円 (390.7%) 25年3月期第3四半期 478 百万円 (△47.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	6.74	—
25年3月期第3四半期	3.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	64,900	21,156	31.2
25年3月期	60,285	19,001	30.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 20,250 百万円 25年3月期 18,233 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	6.3	1,300	20.3	1,400	25.8	700	50.2	8.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、4 ページ「(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	81,940,298 株	25年3月期	81,940,298 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	57,354 株	25年3月期	55,669 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	81,883,460 株	25年3月期3Q	81,885,747 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年11月8日公表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国での緩やかな回復の継続や、中国を中心としたアジア新興国の景気減速に歯止めがかかるなど、明るい兆しが現れているものの、欧州諸国の債務問題に不安が残り、依然として不透明な状況で推移しました。一方、わが国においては、景気回復政策を背景に引き続き円安傾向で推移したことに加え、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調をたどりました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、原材料価格の高騰やデジタル家電市場の低迷の長期化があるものの、輸出環境の改善などにより、堅調な状況で推移しました。また、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の増加などもあり順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は 390億8百万円と前年同期比 29億円 (8.0%増) の増収、営業利益は 7億7千2百万円と前年同期比 5千7百万円 (8.0%増) の増益、経常利益は 9億5千5百万円と前年同期比 2億9千5百万円 (44.8%増) の増益、四半期純利益は 5億5千1百万円と前年同期比 2億5千1百万円 (83.4%増) の増益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に変更しております。

この変更に伴い、以下の前年同期比較については、変更後のセグメントにより前年同期を組替えたうえで比較しております。

## (機能製品)

当セグメントの主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けは低調でしたが、農薬関連向けが順調に推移し、前年同期並となりました。メラミン樹脂製品は国内向けは低調でしたが、海外向けが堅調に推移し、前年同期並となりました。接着製品は建築向けなどが堅調に推移し、前年同期比増収となりました。マーキングフィルムは国内向けは堅調に推移しましたが、海外向けが低迷し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が伸長し、前年同期比増収となりました。包装用フィルムは中国での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は186億3百万円と前年同期比2億8千8百万円 (1.6%増) の増収となったものの、原材料価格の上昇などにより、セグメント利益は 15億1千9百万円と前年同期比 3億6千7百万円 (19.5%減) の減益となりました。

## (電子・光学製品)

当セグメントの主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などです。

このうち、再帰反射シートは円安の影響もあり、前年同期比増収となりました。セラミック基板はデジタル家電向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。プリント配線板はアミューズ関連は順調に推移しましたが、情報関連向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は104億3千7百万円と前年同期比10億9千9百万円(11.8%増)の増収となったものの、セグメント損失は、セラミック基板の減産の影響などもあり、6億3百万円(前年同期は11億9千1百万円の損失)となりました。

## (建材関連)

当セグメントの主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などです。

主力の手摺、笠木等の販売が順調に推移し、売上高は72億7千8百万円と前年同期比7億円(10.6%増)の増収、セグメント利益は1億6千7百万円と前年同期比5千6百万円(50.5%増)の増益となりました。

## (エンジニアリング)

当セグメントの主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などです。

国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、売上高は34億7千2百万円と前年同期比7億6千8百万円(18.1%減)の減収、セグメント利益は6千6百万円と前年同期比1億9千万円(74.2%減)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比 46億1千4百万円増加し、649億円となりました。

このうち、流動資産は、売上債権や棚卸資産の増加などにより、前期末比 35億2千万円増加し、313億8千2百万円となりました。固定資産は、土地の減損による減少はあったものの、設備投資や投資有価証券の取得などにより、前期末比 10億9千4百万円増加し、335億1千7百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比 24億5千9百万円増加し、437億4千4百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金が増加したことなどにより、前期末比 19億6百万円増加し、291億4千5百万円となりました。固定負債は、長期借入金を調達したことなどにより、前期末比 5億5千3百万円増加し、145億9千8百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上に加え、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比 21億5千5百万円増加し、211億5千6百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の 30.2%から 1.0ポイント改善し、31.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の見通しにつきましては、輸出環境は引き続き改善傾向にあるものの、デジタル家電市場の低迷の長期化に加え、原材料価格の高騰などによるコスト上昇が見込まれます。

このような状況を踏まえ、平成25年11月8日に公表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成26年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成25年11月8日発表)	54,000	1,700	1,800	900	10円99銭
今回修正予想(B)	54,000	1,300	1,400	700	8円55銭
増減額(B-A)	0	△400	△400	△200	—
増減率(%)	0.0	△23.5	△22.2	△22.2	—
前期(平成25年3月期)実績	<u>50,779</u>	<u>1,080</u>	<u>1,113</u>	<u>466</u>	<u>5円69銭</u>

## 2. サマリー情報（その他）に関する情報

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,872	5,121
受取手形及び売掛金	13,706	16,076
商品及び製品	4,955	5,365
仕掛品	1,611	1,898
原材料及び貯蔵品	1,823	1,893
その他	989	1,137
貸倒引当金	△94	△109
流動資産合計	27,862	31,382
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,451	7,119
土地	14,063	13,484
その他(純額)	6,625	6,452
有形固定資産合計	27,139	27,056
無形固定資産	403	528
投資その他の資産		
その他	5,053	6,165
貸倒引当金	△173	△232
投資その他の資産合計	4,879	5,932
固定資産合計	32,423	33,517
資産合計	60,285	64,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,862	10,105
短期借入金	14,019	15,010
未払法人税等	276	72
賞与引当金	504	552
その他	2,575	3,404
流動負債合計	27,239	29,145
固定負債		
長期借入金	6,830	7,702
退職給付引当金	2,904	2,871
役員退職慰労引当金	192	103
再評価に係る繰延税金負債	3,885	3,745
その他	232	175
固定負債合計	14,045	14,598
負債合計	41,284	43,744
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	3,187	3,830
自己株式	△9	△10
株主資本合計	12,616	13,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△90	170
繰延ヘッジ損益	△46	2
土地再評価差額金	6,938	6,683
為替換算調整勘定	△1,184	134
その他の包括利益累計額合計	5,617	6,991
少数株主持分	767	905
純資産合計	19,001	21,156
負債純資産合計	60,285	64,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	36,107	39,008
売上原価	27,765	30,023
売上総利益	8,342	8,985
販売費及び一般管理費	7,627	8,212
営業利益	715	772
営業外収益		
受取利息	28	45
受取配当金	61	78
為替差益	—	143
その他	155	227
営業外収益合計	245	494
営業外費用		
支払利息	200	195
その他	99	115
営業外費用合計	300	311
経常利益	660	955
特別利益		
固定資産売却益	—	22
特別利益合計	—	22
特別損失		
固定資産除却損	12	47
投資有価証券等評価損	45	—
減損損失	1	457
特別退職金	—	169
特別損失合計	59	675
税金等調整前四半期純利益	600	303
法人税、住民税及び事業税	448	376
法人税等調整額	△267	△744
法人税等合計	180	△368
少数株主損益調整前四半期純利益	420	671
少数株主利益	119	119
四半期純利益	300	551

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	420	671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	266
繰延ヘッジ損益	2	49
為替換算調整勘定	21	1,357
その他の包括利益合計	57	1,674
四半期包括利益	478	2,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351	2,180
少数株主に係る四半期包括利益	126	164

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	18,209	9,335	6,573	<u>2,243</u>	<u>36,360</u>	<u>△253</u>	<u>36,107</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	3	5	1,997	2,111	△2,111	—
計	18,315	9,338	6,578	<u>4,240</u>	<u>38,471</u>	<u>△2,364</u>	<u>36,107</u>
セグメント利益又は 損失(△)	1,886	△1,191	111	<u>256</u>	<u>1,062</u>	<u>△402</u>	<u>660</u>

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

	報告セグメント					調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	機能製品 (百万円)	電子・光学 製品 (百万円)	建材関連 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高							
外部顧客への売上高	<u>18,584</u>	10,434	7,273	<u>2,179</u>	<u>38,469</u>	<u>539</u>	<u>39,008</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>19</u>	3	5	1,293	<u>1,320</u>	<u>△1,320</u>	—
計	18,603	10,437	7,278	<u>3,472</u>	<u>39,789</u>	<u>△781</u>	<u>39,008</u>
セグメント利益又は 損失(△)	<u>1,519</u>	△603	167	<u>66</u>	<u>1,149</u>	<u>△194</u>	<u>955</u>

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、事業・開発体制を一層強化し、連携・シナジー効果の促進、更には経営効率の向上と戦略機能の強化を図るため、平成25年4月1日付で組織変更しております。

この組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来の「化成品関連製品」「フィルム・シート製品」「電子材料製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の5区分から、「機能製品」「電子・光学製品」「建材関連」及び「エンジニアリング」の4区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。